

2020年度（2021年3月期） 第2四半期 決算説明会

A thick, solid pink diagonal line pointing from the top-left towards the bottom-right, positioned behind the text.

Engineering for Fusion

社会を繋ぐエンジニアリング

2020年11月

株式会社 協和エクシオ

1. 2020年度 第2四半期業績

(1) 概要	…	2
(2) 受注高	…	3
(3) 売上高	…	4
(4) 営業利益	…	5
(5) キャッシュフロー	…	7

2. 2020年度 通期見通し

(1) 概要	…	8
(2) NTTグループ（アクセス、ネットワーク）	…	9
(3) NTTグループ（モバイル）	…	10
(4) NCC	…	11
(5) 都市インフラ	…	13
(6) システムソリューション	…	15
(7) 中長期的な成長に向けた取り組み	…	17
(8) ウィズコロナ時代の働き方改革の取り組み	…	19

3. M&A戦略

(1) 事業領域別の展開イメージ	…	20
------------------	---	----

4. 株主価値の向上

(1) 株主還元施策	…	21
(2) 2020年度株主還元計画等	…	22

5. トピックス

(1) 南関東支店が“ZEB”導入事業に認定	…	23
(2) 当社の信用格付が「A+」に変更	…	24

1. 2020年度 第2四半期業績

(1) 概要

- ◆ 新型コロナの影響は限定的で、堅調な受注と豊富な手持工事の消化により増収
- ◆ 新規連結等により販管費は増加したものの、売上高の伸びに伴い着実に増益

■ 業績（連結）

（単位：億円）

	2019年度		2020年度	
	第2四半期 累計期間	通 期	第 2 四 半 期 累 計 期 間	
	A	B	実 績 C	前 期 比 C/A
受 注 高	2,851	5,563	2,876	101%
売 上 高	2,123	5,245	2,248	106%
売 上 総 利 益	(13.3%) 281	(13.0%) 683	(13.3%) 300	107%
販 管 費	(8.2%) 174	(7.1%) 372	(8.4%) 188	108%
営 業 利 益	(5.1%) 107	(5.9%) 311	(5.0%) 112	104%
経 常 利 益	(5.0%) 106	(5.8%) 306	(5.4%) 122	115%
親会社株主に帰属する 四半期（当期）純利益	(3.0%) 62	(3.0%) 156	(3.3%) 74	119%

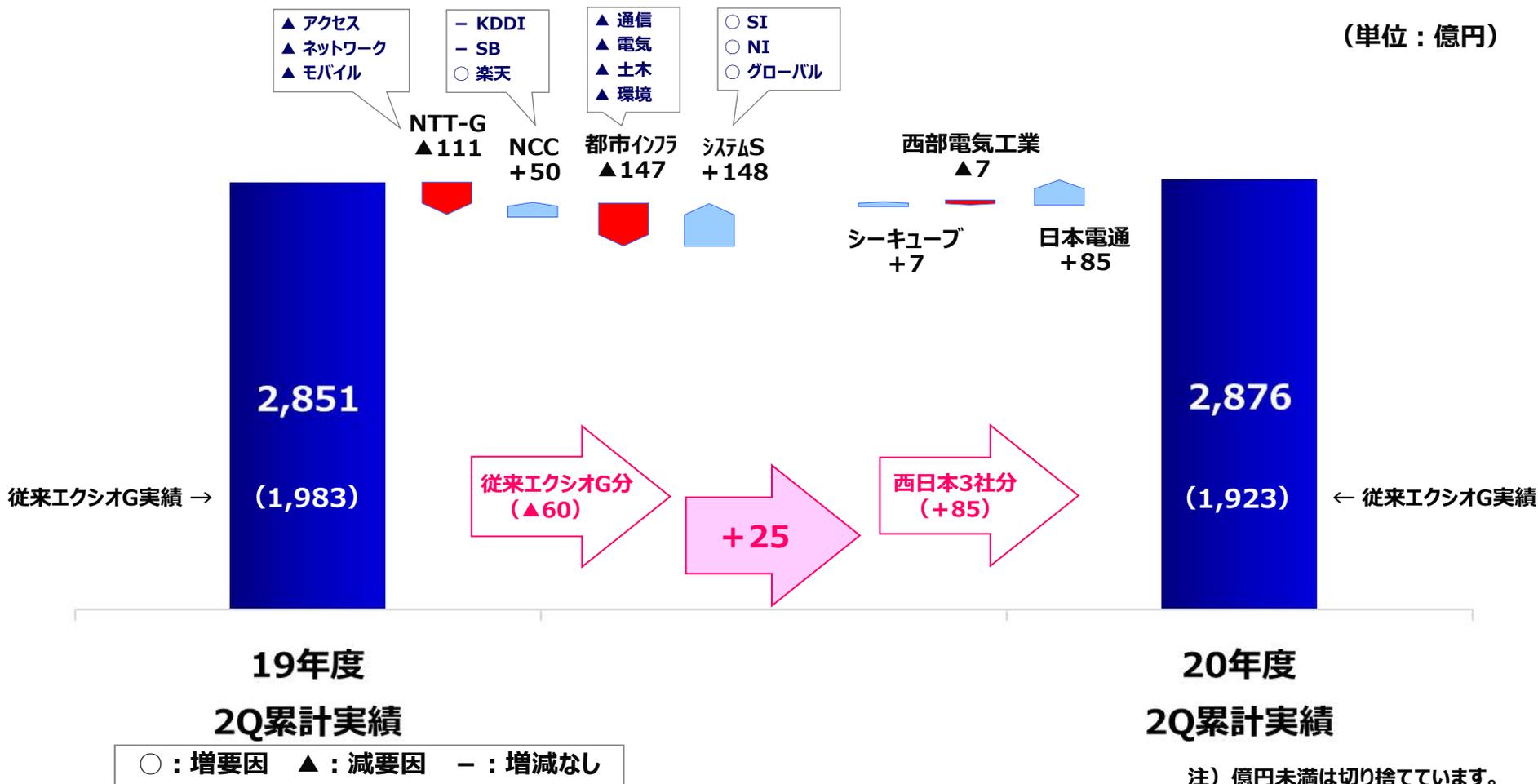
注1) 億円未満は切り捨てています。

注2) () 内は売上高に対する割合です。

1. 2020年度 第2四半期業績

(2) 受注高

◆ 都市インフラは前年の超大型受注の反動減があるも堅調で、システムソリュが好調



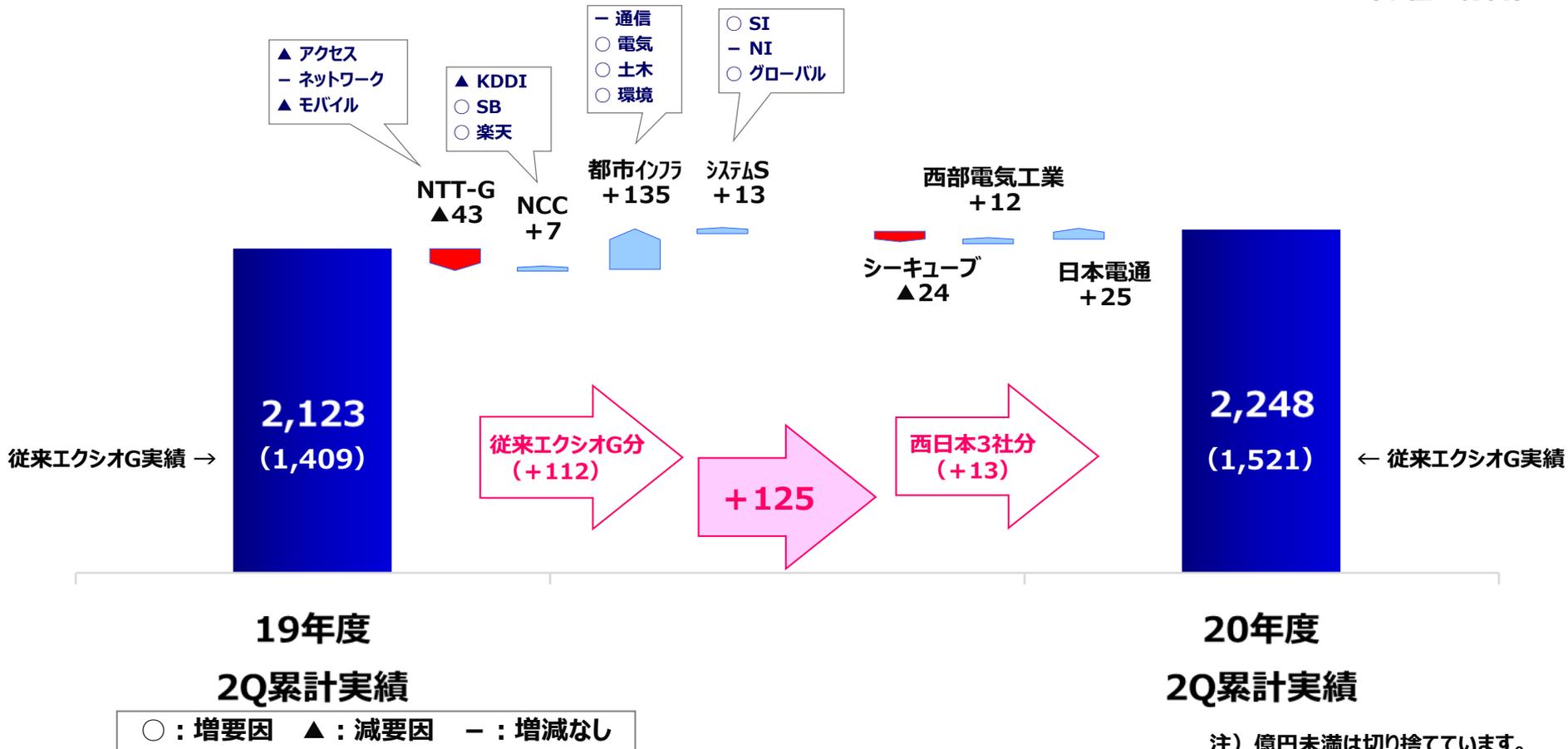
注) 億円未満は切り捨てています。

1. 2020年度 第2四半期業績

(3) 売上高

◆ 新型コロナの影響でモバイル工事等に若干遅れがあるものの、都市インフラが順調

(単位：億円)



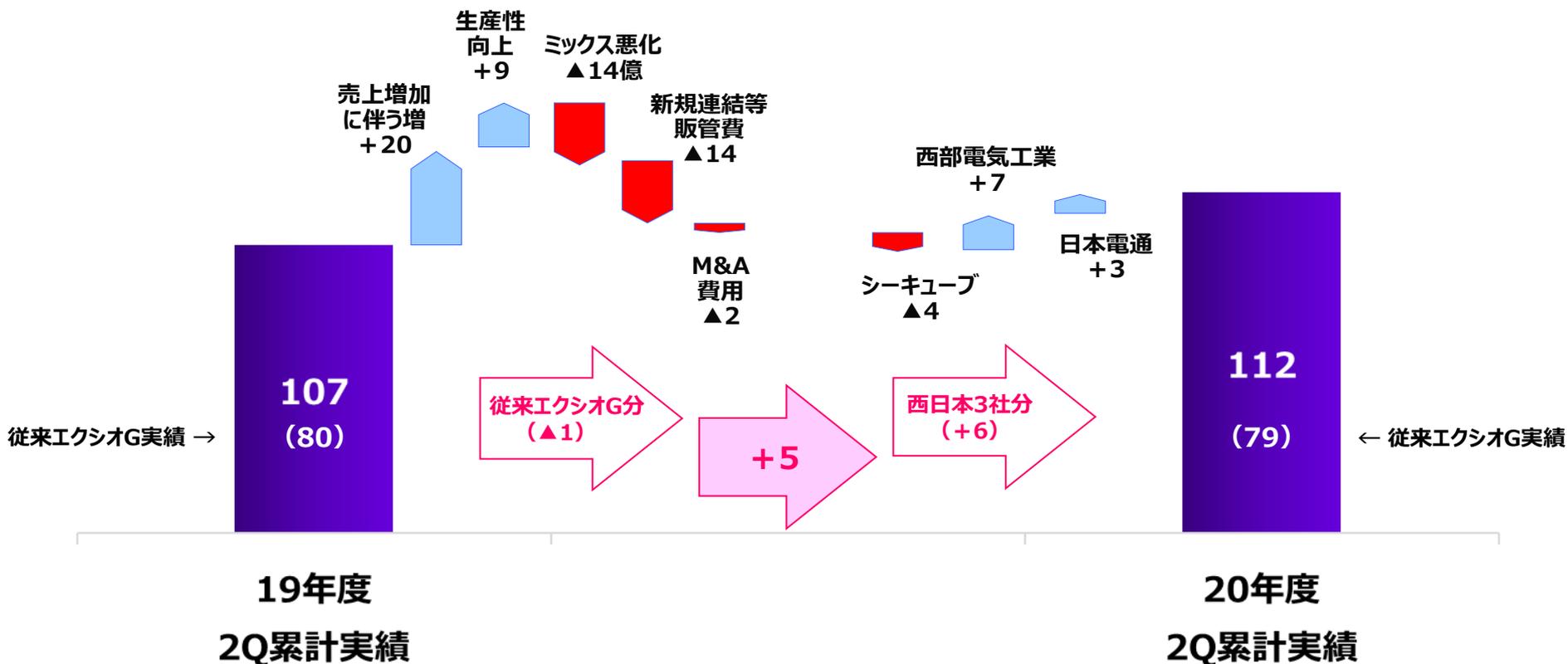
注) 億円未満は切り捨てています。

1. 2020年度 第2四半期業績

(4) 営業利益

◆ 新規連結等により販管費が増加するも、堅調な売上高の伸びに伴い増益

(単位：億円)



注) 億円未満は切り捨てています。

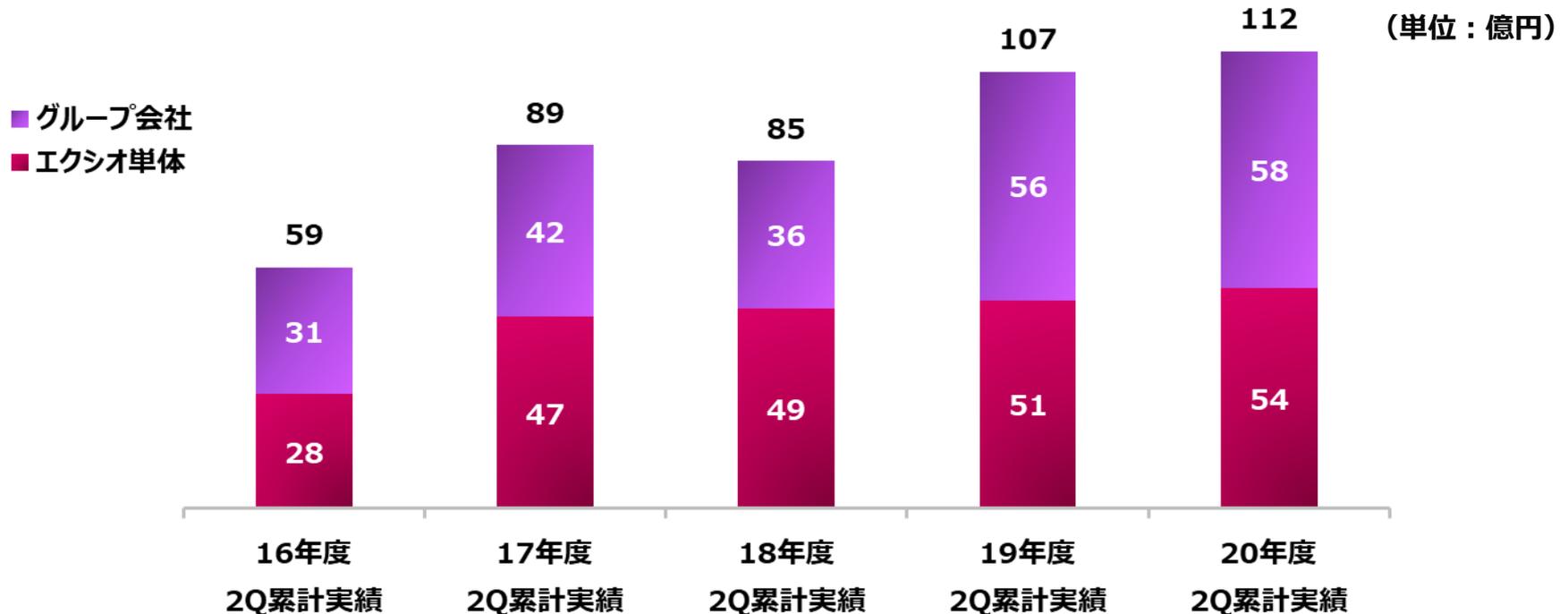
1. 2020年度 第2四半期業績

＜参考＞ グループ会社の利益推移

◆ グループ会社の業績も堅調で、エクシオグループ全体で相互連携して利益を創出

■ 営業利益の過去5年間の推移（連・単）

(連単倍率) (2.1) (1.9) (1.8) (2.1) (2.1)



注1) 連単倍率 = 連結営業利益 ÷ 単体営業利益

注2) 億円未満は切り捨てています。

1. 2020年度 第2四半期業績



(5) キャッシュフロー

◆ 資金動向は安定しており、成長投資と株主還元のバランスを勘案して資金使途を決定

■ キャッシュフロー（連結）

（単位：億円）

	17年度	18年度	19年度		20年度
			2Q	通期	2Q
期首手持資金	152	303	414	414	460
営業CF	248	127	114	172	231
投資CF	▲45	▲176	▲52	▲170	▲55
財務CF	▲51	▲49	▲52	42	▲57
株式交換に伴う現金等の増減		210		1	▲1
期末手持資金	303	414	424	460	577

注1) 億円未満は切り捨てています。
注2) 2Q期首手持資金は4/1時点金額です。

2. 2020年度 通期見通し

(1) 概要

- ◆ 都市インフラなどのオーガニック成長により、トップラインは過去最高を見込む
- ◆ 成長投資で販管費は増加見込みも、グループシナジーを創出し最高益更新を狙う

■ 業績 (連結)

(単位：億円)

	2019年度		2020年度				
	第2四半期 累計期間	通 期	第 2 四半期累計期間			通 期	
	A	B	実 績 C	前期比 C/A	対通期計画 C/D	計 画 D	前期比 D/B
受 注 高	2,851	5,563	2,876	101%	55%	5,250	94%
売 上 高	2,123	5,245	2,248	106%	43%	5,250	100%
売 上 総 利 益	(13.3%) 281	(13.0%) 683	(13.3%) 300	107%	41%	(13.8%) 725	106%
販 管 費	(8.2%) 174	(7.1%) 372	(8.4%) 188	108%	46%	(7.7%) 405	109%
営 業 利 益	(5.1%) 107	(5.9%) 311	(5.0%) 112	104%	35%	(6.1%) 320	103%
経 常 利 益	(5.0%) 106	(5.8%) 306	(5.4%) 122	115%	37%	(6.3%) 330	108%
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	(3.0%) 62	(3.0%) 156	(3.3%) 74	119%	35%	(4.0%) 211	135%

注1) 億円未満は切り捨てています。

注2) () 内は売上高に対する割合です。

2. 2020年度 通期見通し

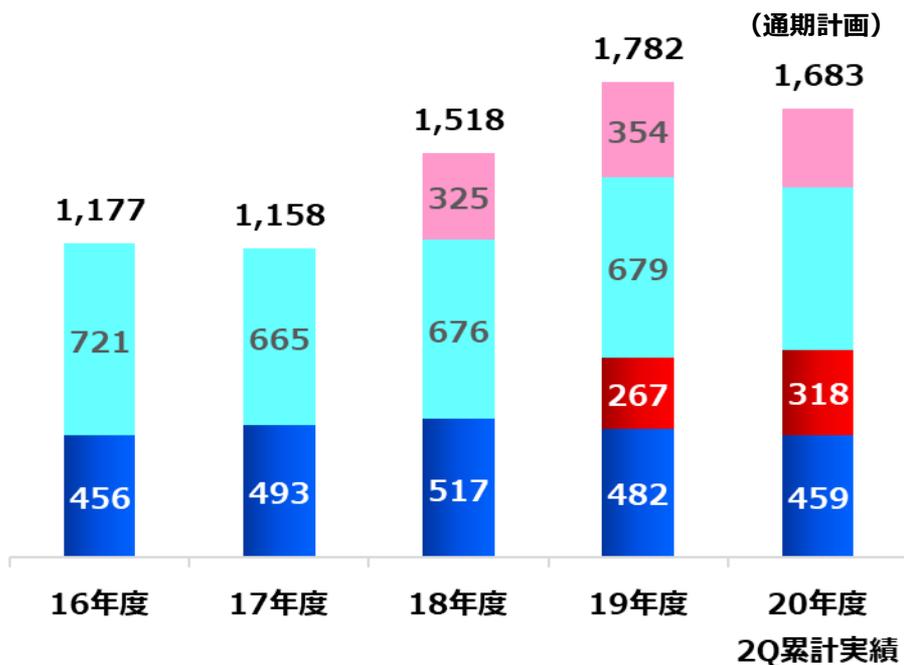
(2) NTTグループ° (アクセス、ネットワーク)

- ◆ 高度無線環境整備事業に伴い、今後地方部の光ファイバ敷設工事の増加を見込む
- ◆ コアネットワーク側では5Gモバイルバックホール工事の増加に期待

■ NTTグループ° (固定系) の売上高推移 (連結)

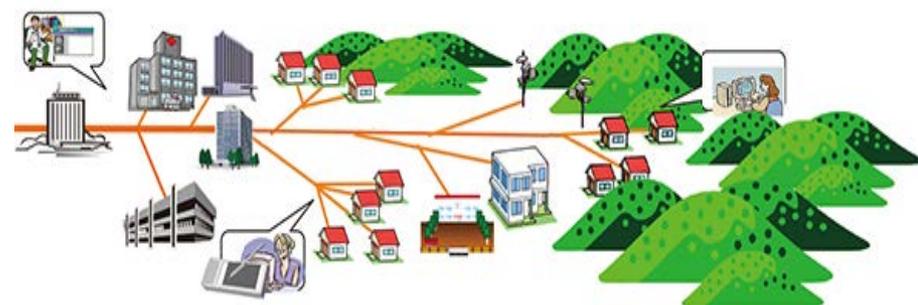
(単位：億円)

- 従来エクシオG 2Q実績 ■ 西日本3社 2Q実績
- 従来エクシオG 下期分 ■ 西日本3社 下期分

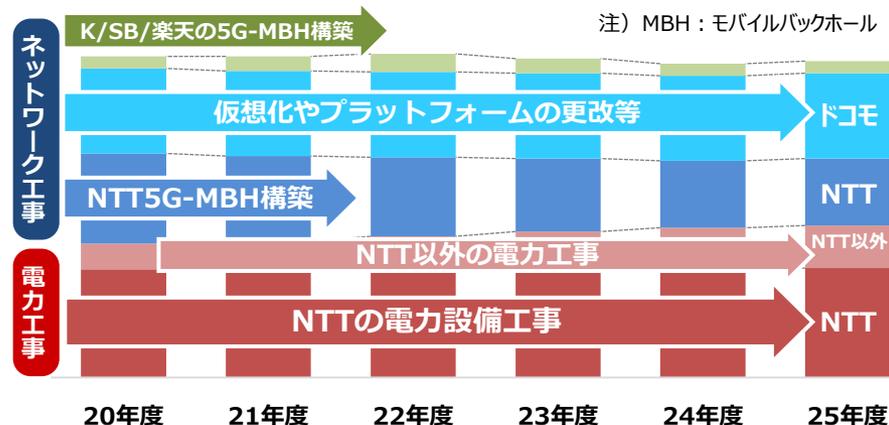


■ 高度無線環境整備事業 (政府政策)

国が補助金を出して、地方部に高速無線局の前提となる光ファイバ網を構築する事業



■ ネットワーク工事の推移イメージ



2. 2020年度 通期見通し

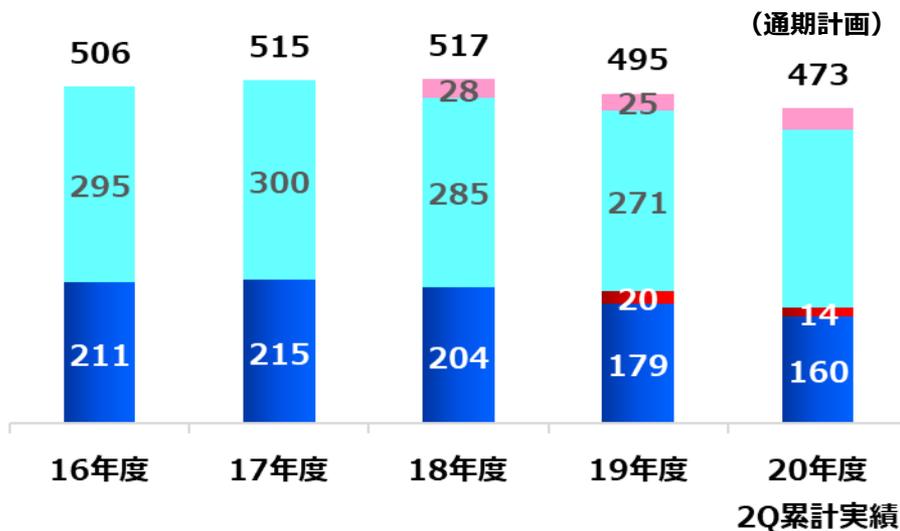
(3) NTTグループ° (モバイル)

- ◆ 5Gエリアの拡大に向け、全国的に無線基地局工事は徐々に本格化
- ◆ アクセスとの施工連携およびNCCを含めオールモバイルで施工体制を再構築中

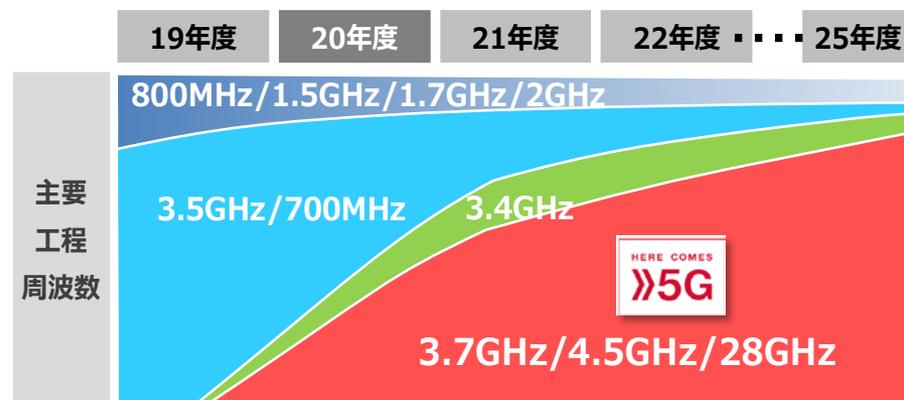
■ NTTグループ° (モバイル) の売上高推移 (連結)

(単位：億円)

- 従来エクシオG 2Q実績 ■ 西日本3社 2Q実績
- 従来エクシオG 下期分 ■ 西日本3社 下期分



■ NTTドコモの主要工程イメージ (当社想定)



■ NTTドコモの5Gエリア展開計画



(出所：NTTドコモ発表資料より当社作成)

2. 2020年度 通期見通し

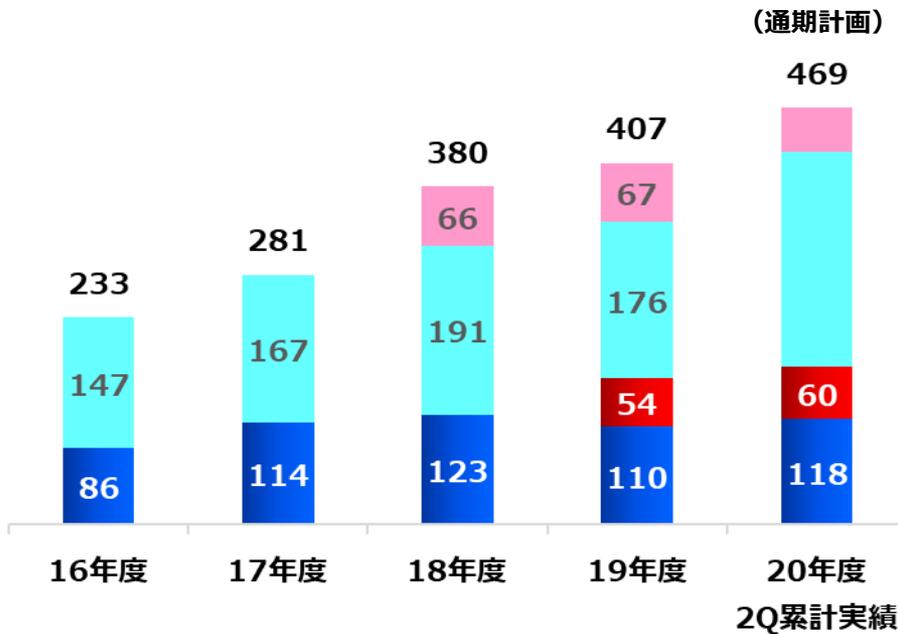
(4) NCC

- ◆ ソフトバンク、楽天からの受注は前年度に続き非常に好調で、増収を見込む
- ◆ 楽天工事は主要子会社と連携して、全国ベースで精力的に対応中

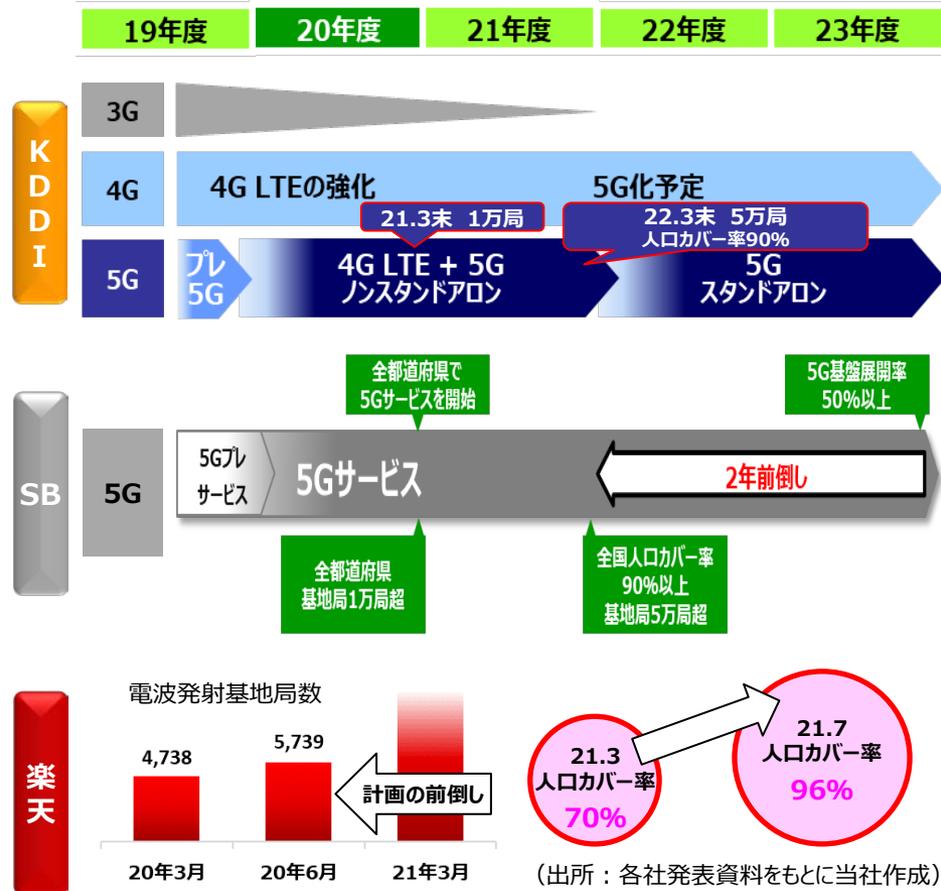
■ NCCの売上高推移（連結）

(単位：億円)

- 従来エクシオG 2Q実績 ■ 西日本3社 2Q実績
- 従来エクシオG 下期分 ■ 西日本3社 下期分



■ キャリア別のネットワーク整備動向



2. 2020年度 通期見通し

<参考> 主要通信キャリアの設備投資動向

(出所：通信キャリア各社発表値)

(単位：億円)

■ NTT東西

■ うち光関連



■ NTTドコモ

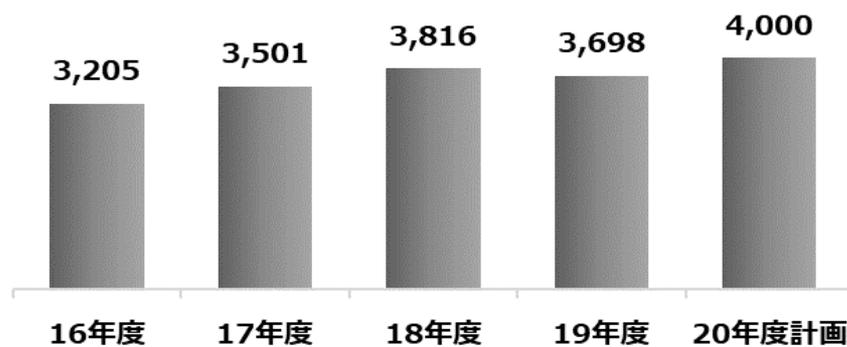


■ KDDI

■ うちモバイル



■ ソフトバンク



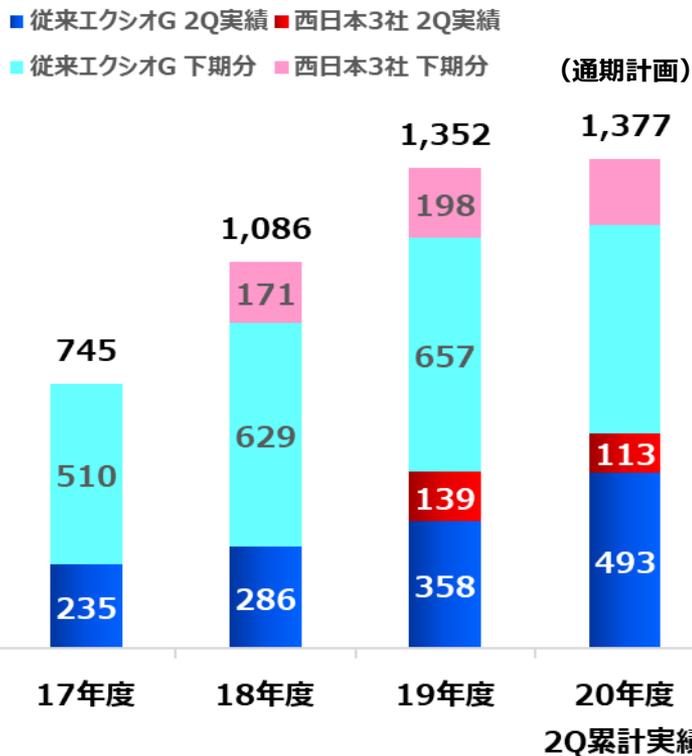
2. 2020年度 通期見通し

(5) 都市インフラ

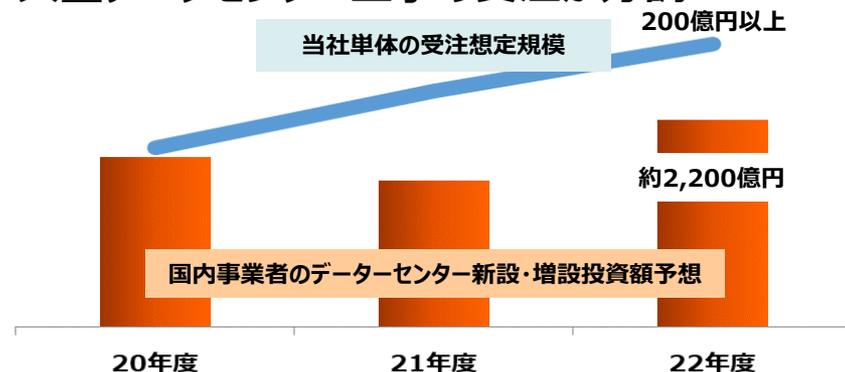
- ◆ データセンター等の大型電気工事の受注が好調で、今後も継続受注を狙う
- ◆ ケーブル陸揚工事や無電柱化工事など技術力に長けた分野で更なる業容拡大を図る

■ 都市インフラの売上高推移（連結）

(単位：億円)



■ 大型データセンター工事の受注が好調



■ 当社のアースシャトル工法（弧状推進工法）

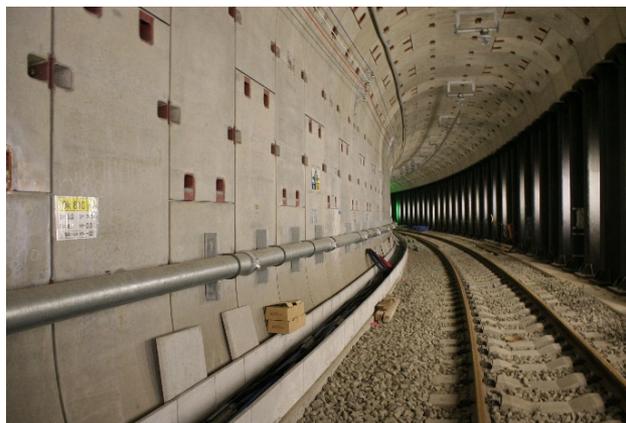


2. 2020年度 通期見通し

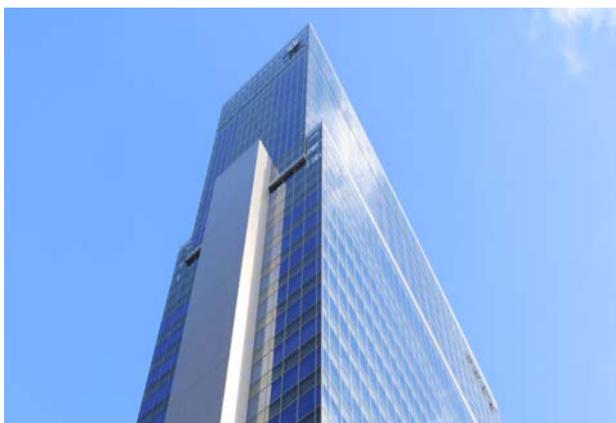
〈参考〉 都市インフラのその他の注力事業

◆ 事業フィールドをさらに拡大し、全国の重要インフラの新設・維持・更新などに貢献

■ 鉄道通信設備工事



■ 大型ビル電気工事



■ 都市土木工事



■ 道路通信設備工事



■ メガソーラー工事



■ 環境プラント工事



2. 2020年度 通期見通し

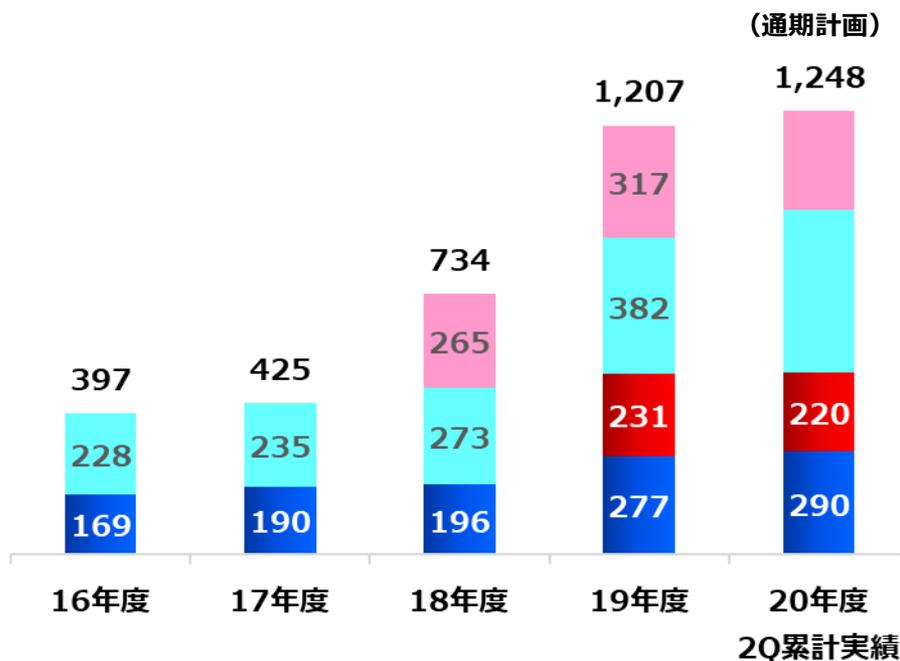
(6) システムソリューション

- ◆ クラウド分野など新しいソリューション領域の拡大に引き続き注力
- ◆ グローバル分野は各国のロックダウンの影響があるが、事業基盤の確立に努める

■ システムソリューションの売上高推移（連結）

(単位：億円)

- 従来エクシオG 2Q実績 ■ 西日本3社 2Q実績
- 従来エクシオG 下期分 ■ 西日本3社 下期分

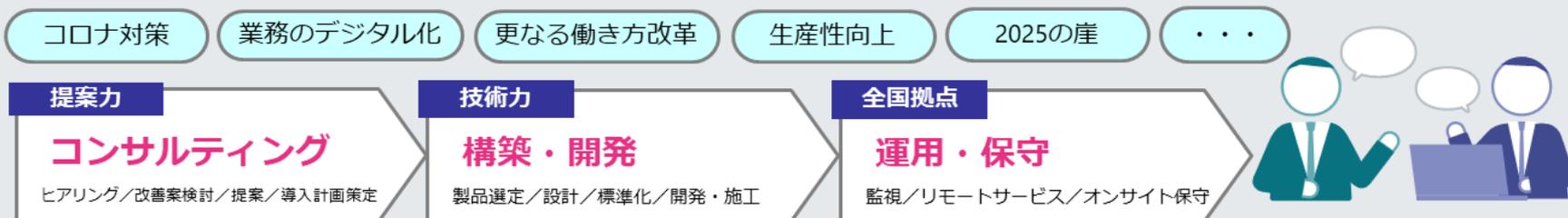


■ ソリューション事業戦略



2. 2020年度 通期見通し

<参考> 当社のソリューションモデルマップ°



withコロナ対策

- (1) 感染疑いの発見
- (2) リモート環境構築
- (3) リモート会議・研修



業務プロセス改革

- (1) 現状プロセス可視化
- (2) あるべき姿デザイン
- (3) デジタル化方針策定



業務・IT運用自動化

- (1) ペーパーレス・印鑑レス
- (2) RPA・AIの導入
- (3) ワークフロー化



ビジネスプロセス アウトソーシング

- (1) 監視・保守・運用
- (2) マネージドサービス
- (3) 全国均一体制



コミュニケーション変革

- (1) 音声等のツール統合
- (2) PBXのクラウド化
- (3) リユーススマートホン



ITインフラの最適化

- (1) WiFi・位置センサー
- (2) ローカル5G
- (3) クラウドへの移行



防災対策

- (1) ため池水位監視
- (2) マルチチャージャー
- (3) サバイバル電源



セキュリティ対策

- (1) エンドポイント
- (2) ゼロトラスト
- (3) SOC運用



2. 2020年度 通期見通し

(7) 中長期的な成長に向けた取り組み

◆ 新技術・新領域へのチャレンジ（新たに取り組んでいるプロダクトの一例）

GIGAスクール

文部科学省が主導し、義務教育を受ける児童生徒のために、1人1台の学習者用パソコンと高速ネットワーク環境などを整備する計画



主要子会社と連携して全国対応しており、受注好調

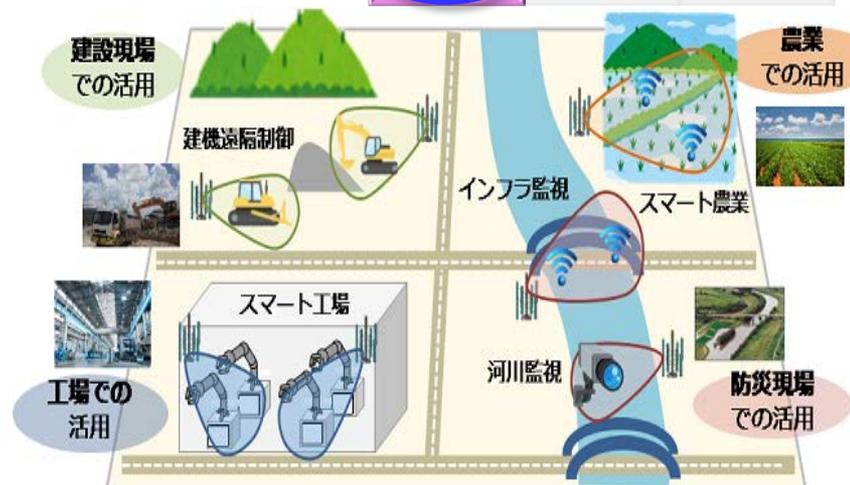
遠隔診療など、総務省の実証実験に当社も参画予定

農業	漁業	工場
モビリティ	インフラ	観光・eスポーツ
防災	防犯	働き方
医療・ヘルスケア		

ローカル5G

Service Now

認定技術者を育成し、徐々に受注実績を積み上げ、**パートナーランクが、「Premier」にアップ**するなど着実にステップアップしており、今後販売チャンネルを強化し、さらなる受注拡大を狙う



(出所：総務省 電波利用ホームページ)

2. 2020年度 通期見通し

(7) 中長期的な成長に向けた取り組み

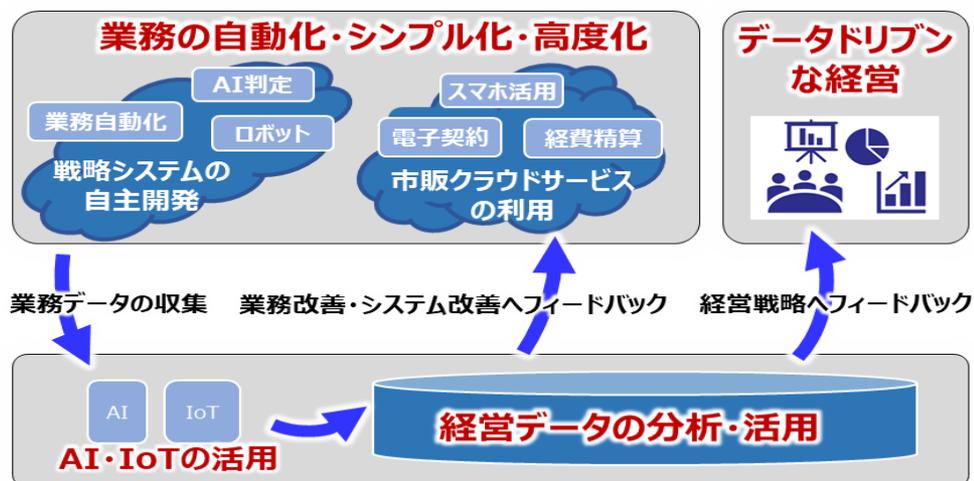
◆ DX（デジタルトランスフォーメーション）の取り組みによる業務改革を推進

現業業務のデジタル化

- ・ 共通系・事業系システムの見直しとグループ共有化
- ・ AI、IoTなどの新技術の活用
- ・ データ分析基盤の構築 など

バックオフィス業務のデジタル化

- ・ デスク業務のプロセス改善
- ・ ペーパーレス化、押印レス化
- ・ スマホ徹底活用 など



2. 2020年度 通期見通し

(8) ウイズコロナ時代の働き方改革の取り組み

◆ 自社で新しい働き方を推進していくとともに、お客様にも関連ソリューションを提供

お客様の課題・ニーズに沿った「リモートワークソリューション」を提供

T Microsoft Teamsによる
コミュニケーション
・オンライン会議
・オンライン研修
・オンライン面接



勤務先



安全なリモートワーク環境



EXOffice

モバイル勤務

- 働く場所、現地・現場での処理
- ・移動中の交通機関
- ・現場、客先、出張先
- 待ち時間の駅・カフェ など



ワークライフバランス
向上

サテライトオフィス勤務

- 働く場所
- ・勤務先以外の事業所
- ・外部契約サテライトオフィス



育児・介護・治療・障がいと
仕事の両立

EX Home

在宅勤務

- 働く場所
- ・自宅



直出・直帰
移動時間削減



直出・直帰
移動時間削減



客先



出張先



現場

3. M&A戦略

(1) 事業領域別の展開イメージ

エンジニアリングソリューション
(都市インフラ)

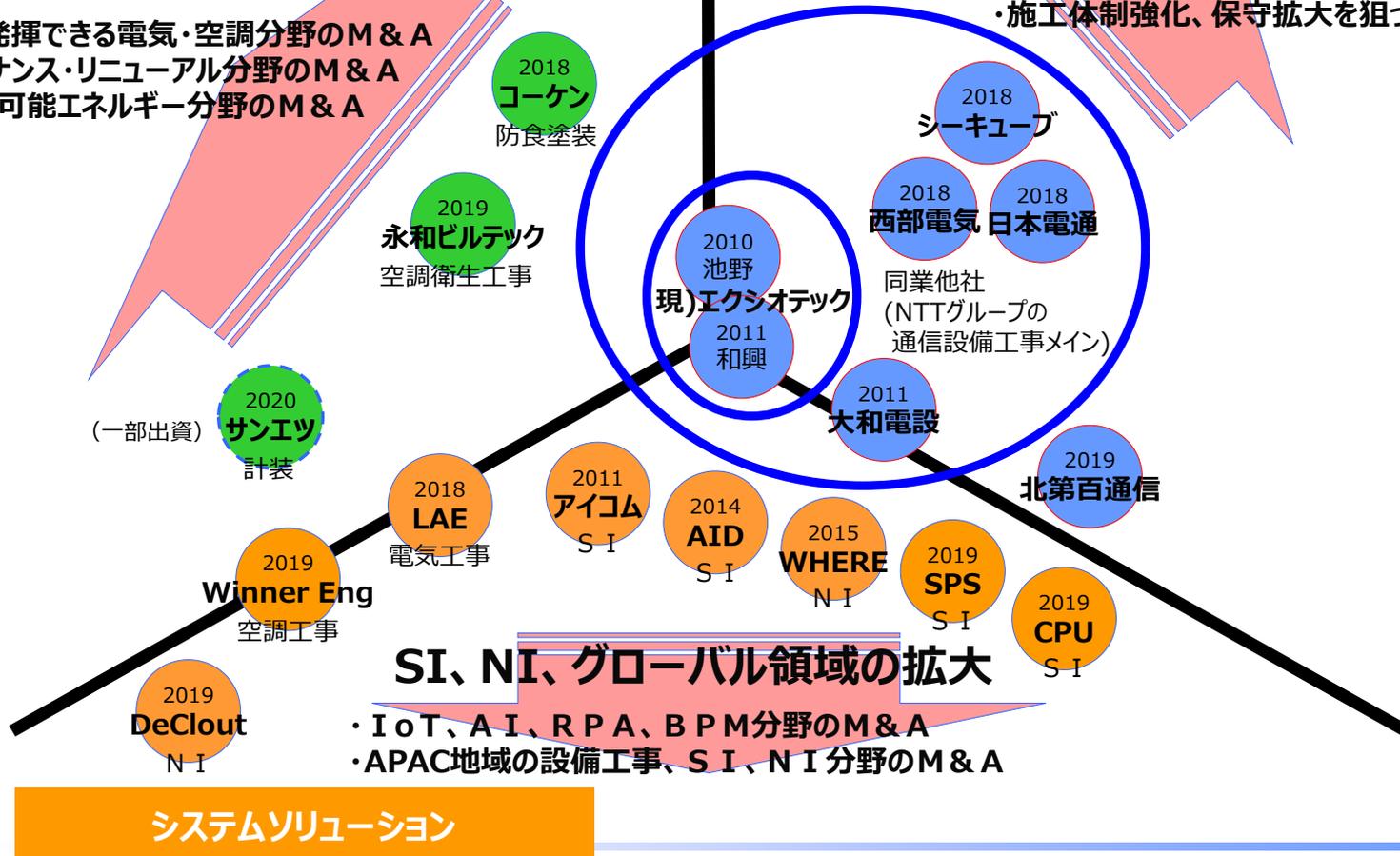
エンジニアリングソリューション
(NTTグループ、NCC)

電気・空調、メンテナンス・リニューアル、
土木、再生可能エネルギー領域の拡大

- ・シナジーを発揮できる電気・空調分野のM&A
- ・設備メンテナンス・リニューアル分野のM&A
- ・土木、再生可能エネルギー分野のM&A

施工体制強化、保守領域の拡大

- ・これまでM&Aをした各社とのシナジー発揮
- ・施工体制強化、保守拡大を狙ったM&A



SI、NI、グローバル領域の拡大

- ・IoT、AI、RPA、BPM分野のM&A
- ・APAC地域の設備工事、S-I、N-I分野のM&A

システムソリューション

4. 株主還元

(1) 株主還元施策

- ◆ 株主の皆様に対し、積極的かつ安定的な配当を継続していくことが基本方針
- ◆ 2018年度から配当水準を引き上げ（DOE3% → 3.5%）株主還元を強化

■ 2020年度 年間配当予定 : 82円

項目	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度予定
	DOE 3%	DOE 3.5% (下期から経営統合)	DOE 3.5%	DOE 3.5%
1株当たり年間配当	50円	70円	80円	82円
年間配当総額	47.8億円	73.1億	89.7億	92.1億
配当性向	26.4%	※32.9%	57.2%	43.4%

※経営統合に伴う特別利益(負ののれん)183億円を差し引いて計算

■ 自己株式取得

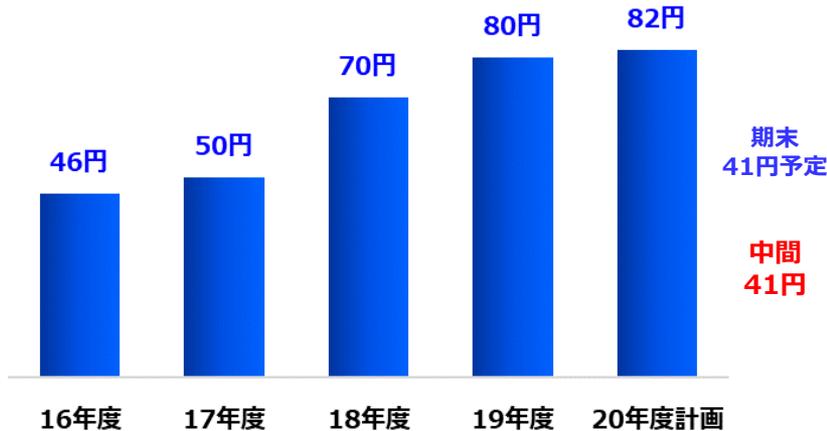
機動的な資本政策を遂行し株主利益の向上を図るため、30億円の自己株式取得を実施

4. 株主還元

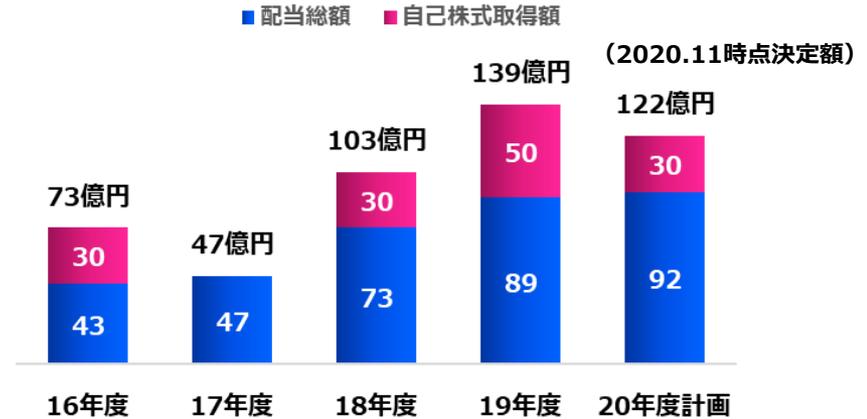


(2) 2020年度株主還元計画等

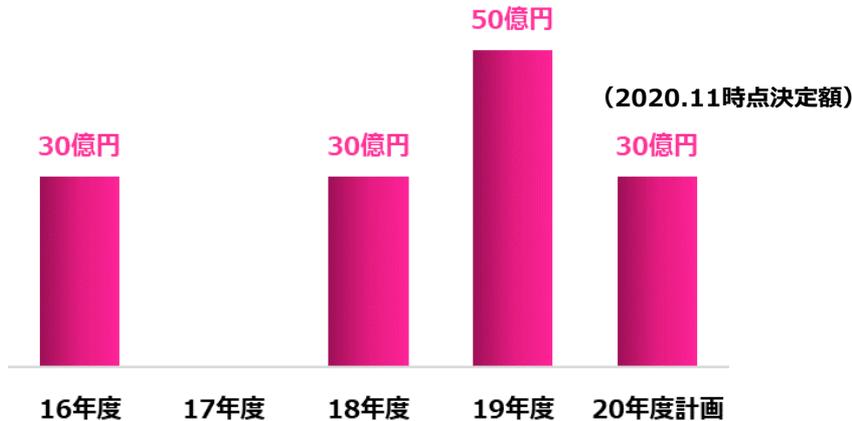
■ 配当（1株あたり）



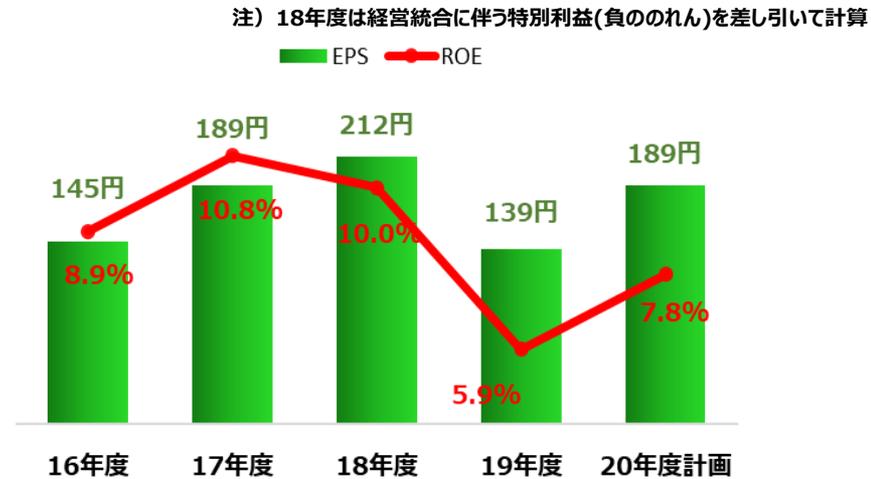
■ 総還元額（配当総額 + 自己株式取得総額）



■ 自己株式取得



■ ROE、EPS



(1) 南関東支店が“ZEB”導入事業に認定

- ◆ 現在建て替え中の南関東支店が、神奈川県が取り組む「かながわスマートエネルギー計画」のネット・ゼロ・エネルギー・ビル（ZEB）導入事業に認定

太陽の放射熱を低減する窓や断熱性能の高い素材の採用、空調を人感センサーにより制御し効率化、およびエネルギーマネジメントシステムの導入などにより、同規模の標準的なビルに比較して消費エネルギーを51%削減します。また、太陽光発電設備（50kW）を設置することで、実質のエネルギー削減量75%を実現し、ZEB化（Nearly ZEB）の基準を満たす建築物とします。



(2) 当社の信用格付が「A+」に変更

- ◆ 日本格付研究所（JCR）より取得している信用格付けが、「A+」にアップ

1. 変更内容

	変更前	変更後
長期発行体格付	A	A+
格付の見通し	ポジティブ	安定的
債券格付	A	A+

2. 変更日

2020年8月31日

注) 格付事由等の詳細につきましては、株式会社日本格付研究所のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) をご参照ください。

■ 注記事項

本資料に掲載している将来の見通しや業績予想等につきましては、当社が発表日現在において認識および入手している情報にもとづき作成したものであり、実際の業績等は様々な要因によって予想と大きく異なる場合がありますのでご注意ください。

【お問合せ先】

株式会社 協和エクシオ

経営企画部 IR担当

今井、徳田、深堀

TEL 03-5778-1073

MAIL exeo.ir@en2.exeo.co.jp